

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる				
評価基準	テスト60% 小テスト20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	小峰 優希	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて13年間勤務した実務経験を基に、ブライダルの基礎知識・用語・業界特性を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ブライダルコーディネーターの定義	ブライダルコーディネーター技能検定について理解する ブライダルコーディネーターの定義を理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式・歴史と文化①	日本の結婚の歴史について学ぶ
5	日本の結婚式・歴史と文化②	日本の結婚の歴史について学ぶ
6	日本の結婚式・歴史と文化③	日本の結婚の歴史について学ぶ 宗教と結婚式について知る
7	日本の結婚式・歴史と文化④	結婚に関する風習・いわれについて学ぶ
8	欧米の結婚式・歴史と文化①	欧米の結婚式の歴史について知る
9	欧米の結婚式・歴史と文化②	欧米の結婚式の歴史について知る
10	欧米の結婚式・歴史と文化③	欧米の結婚式について知る
11	欧米の結婚式・歴史と文化④	欧米の結婚式について知る
12	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する
13	ブライダル業種	ブライダル関連業種について理解する
14	前期総まとめ	前期の学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠB		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

## 科目の基礎情報②

エリア	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識と用語を理解し、使いこなせる				
評価基準	テスト60% 小テスト20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	小峰 優希	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて13年間勤務した実務経験を基に、ブライダルの基礎知識・用語・業界特性を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	前期ⅠA振り返り ブライダル関連業種	前期で学んだⅠAの内容を振り返る ブライダル関連業種について理解する
2	エリア特性 ブライダル業界の1年	結婚における地域特有の風習について学ぶ ブライダル業界の1年の流れと集客システムについて理解する
3	見合いと婚約①	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
4	見合いと婚約②	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
5	結納・婚約式①	結納について学ぶ
6	結納・婚約式②	結納について学ぶ 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ
7	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ
8	神前式①	神前式の歴史と現状について知る 神前式式次第①
9	神前式②	神前式式次第②
10	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについて小テスト
11	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ
12	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ
13	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
14	後期総まとめ	後期の学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムA		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムA		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける				
到達目標	7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる				
評価基準	テスト20% 授業態度40% 提出物40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKOワークコンピテンス	SANKOワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なことは？	なりたいたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけでなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功的振り返り	前期授業内容（私的成功的）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムB		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムB		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける				
到達目標	7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる 7つの習慣を自らの生活と結びつけ、前向きな学習態度として体現することができる				
評価基準	テスト20% 授業態度40% 提出物40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聞き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る
6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
10	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習(知識確認)する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集3級		出版社	早稲田教育出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける				
到達目標	サービス接客検定3級に合格する 基本的なビジネス文書を作成することができる				
評価基準	小テスト30% 提出物30% 検定合格40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接客検定3級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	田中 香 他2名	実務経験	○		
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンにて3年間勤務した実務経験を基に、社会人として求められるビジネスマナーに関する知識を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは	サービススタッフに必要とされる要件について学ぶ 身だしなみについて学ぶ
2	サービススタッフの 資質・専門・一般知識	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	対人技能	対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ
4	敬語	敬語について学ぶ
5	実務技能	実務的な技能を学ぶ
6	慶事・弔事のマナー	社交業務について学ぶ
7	接客者としての知識	接客者について学ぶ
8	検定対策	過去問題より検定対策を行う
9	社外文書①	社外文書の書き方を学ぶ
10	社外文書②	
11	電話対応	電話対応の方法について学ぶ
12	名刺交換・お茶出し	名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ
13	面接のマナー	面接試験のマナーについて学ぶ
14	受付から誘導まで	受付から誘導までの方法を学ぶ
15	総合学習	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック		出版社	クリエスクール	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト40% 提出物30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネイト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	廣川 朋子	実務経験		○	
実務内容	ブライダルフラワー デザイナーとして結婚式場にて8年、フラワー教室主宰として21年勤務した実務経験を基に、フラワーアレンジメントを通して培った色に関する知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて	パーソナルカラーの重要性を知る
2	色の性質①	色の持つ性質や特徴・有彩色と無彩色・色の三属性を理解する
3	色のトーン① 色の心理的効果	トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ 色の心理的効果を理解する
4	配色①	配色の基礎を学び、配色構成を理解する 色相環・トーンを理解した上で配色を考える
5	配色②	イメージ配色の重要性を理解する 和装の配色方法を学ぶ
6	光の三要素 眼のしくみ	色がなぜ見えるのかを学ぶ 三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
7	対比・補色対比 混色	対比・補色対比について学ぶ 加法混色と減法混色を学ぶ
8	色のトーン②	トーンの4つのグループの特徴を理解する
9	色のトーン③	メイク・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
10	検定対策①	検定対策を行う
11	検定対策②	
12	検定対策③	
13	パーソナルカラー判定①	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定②	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	CAREER SUPPORT BOOK		出版社	-	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る 面接や内定後までの流れを知る				
到達目標	就職活動の流れを理解する 魅力的な履歴書の書き方を習得する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30% 提出物40% 面接30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	郷内 亜梨香 他5名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	キャリアデザインについて 就職活動の流れを理解する	キャリアデザインの授業の重要性について知り、就活の流れを理解する (ISの復習込み・1day) スタブロ継続が就活、その先の仕事に繋がることを理解し、学校生活のルールを確認する
2	プライダル業界・職種について 就職活動サイト登録・メールの送り方	プライダル業界の魅力や大まかな職種を知り自身の職種について考える (インターンシップ対策と運動) マイナビ、リクナビに登録をする
3	企業調べ・企業研究について 就活ノートのまとめ方・活用方法	企業担当一覧を元に検索、気になった企業名を挙げていき、企業情報のまとめ方・調べ方を知る 先輩の就活ノートを参考にまとめ方、活用方法を知り、作成始められる状態とする
4	働くことをイメージする 就活の軸・求人票の見方	就活の軸を考える 求人票の見方・福利厚生等を知る
5	就活の軸・自己分析について 身だしなみについて	就活の軸を考え、過去分析を行う 7月就職イベントに向けた身だしなみについて理解する
6	自己分析について 伝え方(文章構成)の方法を学ぶ	現在から未来について考える PREP法について学び、文章構成の作り方を理解する
7	コース分け 自己分析を行いPREPで文章を考える	各コースの違いと特徴について知る 自己分析と運動して、PREP法で文章を作成する
8	自己分析について①	自己分析ワークを行う
9	自己分析について②	個人面談で就活の軸の深掘りを行う
10	自己分析について③ 1dayインターンシップについて	自己分析ワークを行う 個人面談で就活の軸の深掘りを行う 1dayインターンシップについて知る
11	自己分析について イベントへ参加姿勢・身だしなみチェック	自己分析ワークを行う 個人面談で就活の軸の深掘りを行う 就活イベントの参加姿勢を理解し、身だしなみ確認を行う
12	SPIとは グループディスカッションとは	SPI・グループディスカッションとは何かを理解し、何を意識して実施するかを理解をしている 電話とメールのマナー (インターンシップ対策と運動)、署名設定する
13	グループディスカッション実施①	グループディスカッション振り返り
14	グループディスカッション実施②	実践を行う
15	総合授業	学習の総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	CAREER SUPPORT BOOK		出版社	-	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る 面接や内定後までの流れを知る				
到達目標	就職活動の流れを理解する 魅力的な応募書類の書き方を習得する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30% 提出物40% 面接30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	郷内 亜梨香 他5名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	就活のスケジュール クラスコミュニケーション	就職の流れを改めて確認し、証明写真撮影に向けて身だしなみの再確認を行う クラス間コミュニケーションワークを実施する
2	早期選考について 企業を知ることの重要性	企業の早期選考について理解し、就職の準備を行う
3	企業調べ・企業の志望動機の記事構成 面接導入	企業の調べ方とどのようなポイントを見ていくのかを理解し、自身の就活軸との結び付け方を考える 志望動機の書き方を理解する 面接の導入を行う
4	身だしなみ ESの書き方・面接対策	証明写真にふさわしい身だしなみか確認を行う エントリーシートの種類を知る・エントリー動画のポイントを理解する 面接対策(学校名・名前の練習)を行う
5	面接練習①	面接練習を行う 同時に志望動機・エントリーシート作成、SPI・一般常識対策を実施する
6	面接練習②	
7	面接練習③	
8	面接練習④	
9	面接練習⑤	
10	面接練習⑥	
11	面接練習⑦	
12	面接練習⑧	
13	面接練習⑨	
14	面接練習⑩	
15	内定後のフロー 総合授業	内定後のフローについて理解する 学習の総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マーケティング		
必修選択	選択	(学則表記)	マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ゼクシィ ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	リクルート 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する				
到達目標	ターゲットの設定、商品の選定、告知内容を理解し新しい商品を生み出すことができる				
評価基準	プレゼンテーション50% テスト40% 授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルプロジェクト1B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	堀 未奈	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナー・サービススタッフとして結婚式場にて9年、マーケティング担当として1年勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められるマーケティングの知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	マーケティングの必要性	マーケティングがなぜ必要なのかを理解する
2	ブライダルビジネスについて	ブライダル市場は具体的にどのような内容を指すのか理解する これまでのブライダル市場の推移について知る
3	ターゲットの選定	コンペティション内容の決定に向けてターゲットを絞る
4	商品の決定	ターゲットに向けて魅力的な商品とは何か考える
5	集客システムについて	ブライダル業界の集客システムはどのようなものになっているのかを理解する
6	商品の告知方法	商品の告知方法にはどのようなものがあるのか知る
7	コンペティション準備①	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
8	コンペティション準備②	
9	コンペティション準備③	
10	コンペティション準備④	
11	コンペティション準備⑤	
12	企業コラボ①	ブライダル企業の方に講話いただき、業界の現状と対策について理解する
13	企業コラボ②	
14	総まとめ	半期の学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	後期に受験予定の全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	アテンド実践A、ドレスデザインB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松原 明歌	実務経験		○	
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで8年間勤務した実務経験を基に、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ
2	ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材	ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ
3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ
5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する
6	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する
7	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ
8	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリー、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ
10	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ
11	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ
12	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ フィッティングも実施する
13	ヘアスタイルによる スタイリング効果	ドレスシルエットとヘアスタイルのバランスを学ぶ
14	総まとめ	半期の学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	ドレスデザインA、ブライダルプランナー検定Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松原 明歌	実務経験	○		
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで8年間勤務した実務経験を基に、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
2	体型によるスタイリング効果	
3	フィッティング実習	ドレス・タキシードのフィッティングを実践する
4	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
5	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ
6	和装衣装	
7	和装衣装 列席者衣装	新郎和装、列席者の衣装について学ぶ
8	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る
10	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題を行う
11	検定前対策 過去問題より	
12	検定前対策 過去問題より	
13	検定前対策 過去問題より	
14	総まとめ	半期の学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターンシップ対策		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ対策		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	1
使用教材	なし		出版社	-	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	インターンシップを行なう上での基礎知識を身につける				
到達目標	インターンシップとはどんなものかの理解が深まっている インターンシップを始めるための準備が整っている 現場に出た時に、企業様に迷惑をかけず、自分も困らない基礎スキルが身につけている				
評価基準	提出物 30% 授業態度40% レポート 30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高橋 絵美 他2名	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界で求められる知識及びインターンシップのあり方を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	結婚式の理解を深める インターンシップの概要説明① (1dayとアルバイトの違い)	職種理解を深める (式場・ホテル・ドレス・ジュエリー・フォト・フラワーなどの違いやりがいを知る) インターンシップの規定・1dayとの違い・アルバイトとの違いを理解する
2	インターンシップ概要説明②	単位数・就職との繋がり インターンシップの職種・契約期間・勤務日や日時について
3	企業リサーチの仕方	ブライダル企業を調べてみる
4	企業リサーチ	興味を持った職種にまつわる企業様を調べてみる 全国企業を知る
5	企業理解を深める	企業様のお話を聞いて企業理解を深める
6	身だしなみ 先輩動画	髪型やメイク、スーツの着こなしなどの実践 実際にインターンシップに行っている先輩の声をきく
7	履歴書の書き方 業界の志望動機	履歴書の書き方やポイントを理解する 志望動機の書き方を知った上で、なぜブライダル業界がいいのかを考えてみる
8	履歴書の書き方 業界の志望動機	過去分析を実施の上、業界の志望動機を作成する
9	履歴書の書き方 業界の志望動機	過去分析を実施の上、業界の志望動機を作成する
10	履歴書の書き方 業界の志望動機	履歴書を完成させる
11	面接練習①	対面面接のポイントを知る
12	面接練習②	面接の実践
13	面接練習③	オンライン面接を知る
14	電話やメールの仕方 接客対応について	企業様と失礼のないやりとりができるようになる ビジネスマナーや接客についての理解を深める
15	総合学習	インターンシップに必要な対人力を磨く インターンシップ手帳の書き方や提出方法を理解する

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アテンド実践A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れを理解する				
到達目標	衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 50% 実技30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスデザインA・ブライダルプロジェクトI A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松原 明歌 他1名	実務経験		○	
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで8年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められるアテンドの知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）
5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	
9	挙式のアテンド③ （実践・振り返り）	挙式アテンドの振り返りを行う
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトI Aと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	総まとめ	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	45
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門		出版社	講談社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する				
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる				
評価基準	テスト30% 授業態度30% 検定合格40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	廣川 朋子	実務経験	○		
実務内容	ブライダルフラワー デザイナーとして結婚式場にて8年、フラワー教室主宰として21年勤務した実務経験を基にフラワーアレンジメントに関わる知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	フラワーデザインについて リボン作成	フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ リボンの作り方を学び、実践する
2	コサージュ・ブートニア	ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う
3	花束・ラッピング	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う
4	ゲストテーブル①(ドーム型)	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う
5	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う
6	ゲストテーブル②(水平型)	テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う
7	メインテーブル	水平型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する
9	キャスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、キャスケードブーケを作成する
10	振り返り	ここまでの学習内容の振り返りを行う
11	トライアングラー	三角形の作り方を学び、トライアングラー型アレンジを作成する
12	フローラルアクセサリ	ウェディングにおいてのフローラルアクセサリの種類を学び、作成する
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠA		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科		30
使用教材	なし		出版社	-	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる				
到達目標	挙式の一連の流れを理解する 各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることができる				
評価基準	授業態度40% 制作物40% 振り返り20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	パーティプロデュース、アテンド実践A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	盛永 梨沙 他7名	実務経験	○		
実務内容	ジュエリーコーディネーターとしてジュエリーショップで8年間勤務した実務経験を基に、人前式の企画・施行に関わる知識・実践方法を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	概要の把握	模擬挙式概要を把握する 当日までのスケジュール、各セクションについて理解する
2	目標・テーマ・各セクション決定	目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セクションメンバーを決める
3	スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う
4	各セクション制作①	各セクションごとに準備を進める
5	各セクション制作②	
6	各セクション制作③	
7	各セクション制作④	
8	紙上リハーサル	完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う
9	挙式リハーサル①	挙式リハーサルを行う（各セクション、動きの確認）
10	挙式リハーサル②	
11	挙式リハーサル③	
12	全体リハーサル①	全体リハーサルを行う（受付～誘導～挙式～お見送り）
13	全体リハーサル②	全体リハーサルを行う（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り）
14	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
15	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠB		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし		出版社	-	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける 業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する				
到達目標	ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーションができる これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる				
評価基準	校内選考企業評価50% グループレポート30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	マーケティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	盛永 梨沙 他7名	実務経験	○		
実務内容	ジュエリーコーディネーターとしてジュエリーショップで8年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	後期行事について	ブライダルコンペティションについて概要を把握する 企業様によるブライダル業界についての講話を聞く
2	成績評価について	成績評価に加わるレポートについて把握する 全国コンペティションの映像を鑑賞する
3	チーム分け	チーム分けの発表 チームごとに内容を検討する
4	内容検討	チームごとに内容を検討する グループレポートを記入する
5	プレゼンテーション準備①	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
6	プレゼンテーション準備②	
7	プレゼンテーション準備③	
8	プレゼンテーション準備④	
9	プレゼンテーション準備⑤	
10	リハーサル①	リハーサルを行う
11	リハーサル②	
12	リハーサル③	
13	本番	コンペティション本番（授業外での開催の可能性もあり）
14	振り返り	コンペティション振り返りを実施する
15	総まとめ	後期総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールスA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールスA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおける立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールス力を身につける				
到達目標	新規接客及び顧客に向けた営業（付帯セールス）において、お客様の満足度を得られる接客スキルを身につける 第一印象が重要な業界を目指すための立ち居振る舞い・姿勢・表情を意識する意味・身だしなみを整える 大切さを理解し、インターンシップや日頃の学校生活で実践させる				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルセールスB・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトII（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則 他1名	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められるセールスに関する知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	セールスのゴールについて	それぞれがセールスのゴールを考え、意見交換を行う
2	ウェディングビジネス マインド	結婚式を創る仕事をするプランナーの心構えを学ぶ 人が喜ぶ究極のおもてなしについて考える
3	身だしなみ	自己表現（オシャレ）と自己演出（身だしなみ）の違いについて学ぶ プランナーとして、スタッフとして、どう見られているのかという意識を持ち、自己演出を考える
4	笑顔	笑顔と見られるポイントと使い分けを身につける
5	立ち居振る舞い	高額商品を売る側として、美しい立ち居振る舞いを身につける ①立ち方 ②歩き方 ③手の組み方 ④座り方 ⑤物の渡し方 ⑥物の指し方
6	求められる5つの基本能力 アイスブレイクについて①	プレゼンテーション力、ヒアリング力、コーディネート力、営業力、問題解決力について知る 自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたらよいかを知る アイスブレイクについて学ぶ
7	新規接客のご挨拶 アイスブレイク② ロールプレイング①	名刺交換の知識を伝え、これまで学んだ、身だしなみ、立ち居振る舞い、笑顔を意識し、新規接客のご挨拶のロールプレイングを行う
8	新規接客のご挨拶 アイスブレイク③ ロールプレイング②	
9	タイプ別の対応を理解する 発想の転換	お客様には心地よいと思う話し方がそれぞれ異なり、相手（お客様）が自分に合っていないではなく、自分が相手に合わせて接客することの大切さについて学ぶ 発想の転換でポジティブに変換する
10	お客様の印象が変わる話し方	お客様が心地よいと感じる話し方を身につける ①話すスピード ②声の大きさ ③話すクセ ④視線 ⑤身振り・手振り ⑥表情
11	お客様の印象が変わる聞き方	お客様は話しやすいと感じる聞き方を身につける（ペアワーク実施） ①二人（新郎新婦）の対応 ②あいづち ③繰り返し ④間の取り方
12	お客様の印象が変わる 話し方・聞き方を 身につける為のロールプレイング	お客様の印象が変わる話し方、聞き方を実践する
13		
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールスB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールスB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおける立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールス力を身につける				
到達目標	お客様の満足度を得られる接客スキル、基礎基本を身につける 新規接客前の集客の仕組み、ブライダルフェアでの予約の電話対応、お問い合わせに対する対応ができるようになる 新規接客の基本的な流れを理解する（本格的な資料の使い方や手法を取り入れた授業は2年次）				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルセールスA・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトII（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則 他1名	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められるセールスに関する知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	新規接客来館までの流れ	実際に自分がお客様の立場になった時にどのような対応をされると良いか考えることで、来館前の対応がいかに重要かを知る
2	ブライダルフェア・相談会について	企業のHP、ゼクシィ等を使い、ブライダルフェアの目的、内容について学ぶ
3	資料請求・HP・WEB・SNS 問い合わせ	集客方法とそれぞれの手法の対応方法について学ぶ 問合せに対する返信文やSNSの発信について等、お客様視点で考える力を身につける
4	電話対応（知識+実践） 電話対応の基本	電話の受け方、取次ぎ、電話をかける、表情、準備物等を学ぶ 電話でブライダルフェアの予約を受ける際の注意点を学ぶ
5	ブライダルフェアの予約 メモの取り方	簡潔に分かりやすく伝える知識を身につける 電話をしながら、メモをとる実践
6	新規接客の目的・ゴール	ブライダルフェアや相談会でプランナーが行う新規接客のゴールを理解する
7	新規接客の流れと資料	お出迎え〜クロージングまでの順番、時間配分・目的・ポイントを理解する
8		
9		
10	来館アンケートについて	来館アンケートを元にお客様の要望を把握する
11	チャペルの新規トークについて	チャペルの新規トークについて理解する
12	クロージング	クロージングの目的、ゴールについて学ぶ
13	半期のまとめ①	半期のまとめを行う
14	半期のまとめ②	
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートA		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	テーブルコーディネートの必要性を理解し、イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる				
評価基準	テスト40% 授業態度30% 提出物30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	平山 杏奈 他1名	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて10年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められる空間デザインに関する知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	空間演出	結婚式における空間演出の重要性を学ぶ
2	空間演出の役割	照明・テーブル・椅子・装飾などの演出におけるイメージの違いを学ぶ
3	テーブルプラン	テーブルの様々な種類のイメージを学び、テーブルプランを考える
4	機材	空間演出において機材の必要性と種類を学ぶ
5	テーブルクロス	テーブルクロスの効果を学ぶとともに、たたみ方・裏表・山谷について学ぶ
6	センターピース	センターピースの役割を学び、色のもつイメージを学ぶ
7	色のトーン	同じ色でもトーンが違うことでイメージや相性のいい色がある事を学ぶ
8	小テスト 感性分類	感性分類という色のすみ分けについて学ぶ
9	感性分類	感性分類マップ別によって感じる印象の違い、イメージを学ぶ
10	イメージ別コーディネート①	エレガントに分類されるコーディネート学ぶ
11	コラージュ①	エレガントに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
12	イメージ別コーディネート②	ロマンティックに分類されるコーディネート学ぶ
13	コラージュ②	ロマンティックに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
14	総まとめ	半期の学習内容を確認する
15	総合学習	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アテンド実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践B		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	なし		出版社	-	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する				
到達目標	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解し、実際に言動でもできる				
評価基準	テスト（筆記/実技）50％ ロール・プレイング、シミュレーション30％ 授業態度20％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	アテンド実践A・ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松原 明歌 他1名	実務経験	○		
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで8年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界に求められるアテンド業務・キャプテン業務の知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返りを実施	挙式アテンドの振り返りと復習
2	コンシェルジュのアテンド クロークスタッフのアテンド	コンシェルジュ（クローク）の業務内容を理解する
3	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ①	会場責任者の重要性、業務内容を理解する
4	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ②	会場入り～披露宴おひらきまでの動きについて理解する
5	受付の説明 親族紹介の進め方を学ぶ	受付の説明、親族紹介について理解する
6	披露宴入場説明 お色直し入場説明	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導し高砂席へアテンドすることができる (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
7	先導について	
8	ケーキ入刀、 手紙・花束贈呈（演出）	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
9	アテンドについて	
10	退場～おひらき アテンドについて	新郎新婦退場～おひらきまでの一連の流れを知る
11	振り返り	ここまでの学習内容を確認する
12		
13	アテンド実践①	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
14	アテンド実践②	
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践A		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる				
評価基準	テスト（実技40％・筆記40％）80％ 授業態度20％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、サービススタッフとしての知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	サービスについて	サービスについて考える
2	接客の基本 接客における好ましい表現	サービスの姿勢、笑顔、接客用語、身だしなみ
3	什器備品の知識 テーブルクロスへのセッティング	それぞれの特徴や用途・取扱い方法を知る クロスのかけ方、ナプキン折りについて理解する
4	テーブルマナー メニューの読み方を知る	テーブルマナー、フランス料理フルコースの表現を理解する
5	お出迎え～提供サービス① 実技（練習）	サービストレーの取扱い
6	お出迎え～提供サービス② 実技（練習）	料理皿の提供と下げの作業動作を理解し実践する
7	お出迎え～提供サービス③ 実技（練習）	お出迎えからオーダーテイクまでの一連の動作を理解し実践する 飲料の提供サービスを理解する
8	お出迎え～提供サービス④ 実技（練習）	アメリカ式サービスの基本動作を理解し実践する
9	お出迎え～提供サービス⑤ 実技（練習）	お出迎えから提供サービスまでの一連の流れを実践する
10	お出迎え～提供サービス⑥ 実技（半期まとめ）	半期のまとめを行う
11	お出迎え～提供サービス⑦ 実技（半期まとめ）	半期のまとめを行う
12	レストランの管理業務組織を知る	レストランの管理業務・組織を知る
13	レストラン等の電話対応 アレルギーについて	レストランのレセプションの電話対応・正しい接客用語を学ぶ
14	半期の総まとめ	半期の総まとめを行う
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーティプロデュース		
必修選択	選択	(学則表記)	パーティプロデュース		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ゼクシィ ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	リクルート 社団法人日本ブライダル事業振興協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	テーマに合わせた挙式、披露宴のプランニングができるように基礎的な結婚式の流れや用語を身につける				
到達目標	新郎新婦の要望に基づいたテーマプランニングができる				
評価基準	テスト50% プレゼンテーション40% 授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	オリジナルプランニング・ホテルプランニング・ブライダル知識Ⅰ、Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	川崎 奈津子 他1名	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて7年間勤務した実務経験を基に、テーマに合わせた挙式、披露宴のプランニングができるように基礎的な結婚式の流れや用語を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	挙式スタイルの基礎知識	挙式の種類と特徴について知る
2	挙式の流れと演出②	キリスト教式、神前式、仏前式について知る
3	挙式の流れと演出④	人前式について 人前式の演出について学ぶ
4	テーマウェディングとは	テーマウェディングについて学ぶ
5	挙式プロデュース①	テーマウェディングの挙式をプロデュースする
6	挙式プロデュース②	
7	挙式プロデュース③	テーマウェディングの挙式プロデュースの発表をする
8	披露宴の基礎知識	披露宴について知る
9	披露宴の流れと演出①	披露宴の進行について学ぶ
10	披露宴の流れと演出②	披露宴の演出、当日のスケジュールについて知る
11	披露宴プロデュース①	テーマウェディングの披露宴をプロデュースする
12	披露宴プロデュース②	
13	披露宴プロデュース③	テーマウェディングの披露宴プロデュースの発表をする
14	総まとめ	学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習A		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word & Excel 2021		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得する				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	検定・テスト60% 課題提出20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級（後期パソコン演習Bにて実施）				
関連科目	パソコン演習B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	辻野 日向 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	PC基礎知識	PC基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OCの使用方法、リテラシーについて理解する
2	Word入門①	Wordの基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法を学ぶ
4	Word入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動を学ぶ
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体を学ぶ
6	Word応用①	表の作成・編集を実施する
7	Word応用②	表の作成・編集を実施する
8	文書作成	表入りビジネス文書作成を実施する
9	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について理解する
10	Excel応用①	オートSUM、関数、四則演算を実施する
11	Excel応用②	グラフの作成、グラフの設定変更を実施する
12	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
13	検定対策②	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
14	前期の振り返り	学習内容の振り返りを行う
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習B		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習B		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word&Excel 2021 はじめてのPowerPoint 2021			出版社	株式会社ユアサポート 実教出版 秀和システム

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得する				
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	テスト60% 課題提出20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	辻野 日向 他2名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	PowerPoint入門	テキストボックス、図形、画像の挿入等、今まで学んだWord,Excelを踏まえPowerPointの動作を学ぶ
2	パワーポイント基礎①	プレゼンテーションとは、PPTの基本操作を学ぶ
3	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成①
4	パワーポイント基礎③	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成②
5	Word復習	表入りビジネス文書作成と解説
6	Excel復習①	表計算問題実施と解説
7	Excel復習②	表計算問題実施と解説
8	Word・Excel復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施 解説
9	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
10	検定対策②	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
11	後期の振り返り	学習内容の振り返りを行う
12	後期の振り返り	学習内容の振り返りを行う
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入を行う
15	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	45
使用教材	電子版BASIC、ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションI ローションII・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカラー		出版社	三幸学園	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(実技・筆記・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	木村 まゆみ 他1名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとしてブライダルヘアメイクサロンにて3年間、ヘアメイクアーティストとして2年間勤務した実務経験を基に、基本的なメイク・ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	基本セッティングについて	基本セッティング&実践について学ぶ
2	骨格と表情筋 クレンジングについて	骨格と表情筋・顔の名称を覚える 手指消毒〜リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ
3	スキンケアについて	前回の復習を行う スキンケアの種類、方法を学ぶ実際に相モデルで行う
4	スキンケア実技・これまでの復習 ファンデーション導入	スキンケアの基礎知識の復習する ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践を行う
5	アイメイクについて①	ファンデーションについて復習する アイメイクについて学ぶ(アイシャドウ縦グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック)
6	アイメイクについて②	前回の復習を行う アイメイクについて学ぶ(アイシャドウ横グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック)
7	アイブロウについて①	前回の復習を行う 基本の眉のプロポーションについて学ぶ&セルフ実技実践使用道具など
8	アイブロウについて②	前回の復習を行う アイブロウ相モデルで実践する 左右対称に行い、形の違いを理解する
9	チーク・リップについて ハイ&ローライトについて	前回の復習を行う 骨格を意識したメイクを学ぶ(3パターン行う)
10	フルメイクの練習①	タイムトライアル(45分)を実施する 時間内にメイクができるようになる 技術を向上させる(左右対称、自然な仕上がりに)反復練習を行い技術力を上げる
11	フルメイクの練習②	
12	フルメイクの練習③ これまでの復習	
13	フルメイクの練習④	
14	学習内容の振り返り メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実践・これまでの学習の振り返りを行う メイク検定について知る
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	45
使用教材	電子版BASIC、ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションⅠ ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカ		出版社	三幸学園	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(実技・筆記・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	木村 まゆみ 他1名		実務経験	○	
実務内容	ブライダルヘアメイクとしてブライダルヘアメイクサロンにて3年間、ヘアメイクアーティストとして2年間勤務した実務経験を基に、基本的なメイク・ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ソフト理論を学ぶ	検定について知る プロポーションについてレクチャー・相モデルでポイントメイクを行う
2	ソフトの練習	相モデルでフルメイク練習を行う(タイムトライアル制限時間内にメイクをする)
3	シャープ理論を学ぶ・学習の振り返り	レクチャー・相モデルでポイントメイクを実践する ここまでの学習の振り返りを行う
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習を行う(タイムトライアル制限時間内にメイクをする)
5	ソフトORシャープの練習①	検定に向けて実践練習 タイムトライアル制限時間内にメイクをする
6	ソフトORシャープの練習②	
7	検定対策	検定と同様に実技練習を行う(スキンケア～フルメイク) 筆記試験対策を行う(苦手な部分を集中して練習)
8	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ
9	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する(SWEET/ROMANTIC)
10	メイクの種類を学ぶ③④シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する(FEMININE/LUXURY)シーンに合わせたメイク…和装などに合うメイク
11	メイクの種類を学ぶ⑤⑥シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する(POP/NATURAL)シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
12	メイクの種類を学ぶ⑦⑧ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する(COOL/CRASICAL)シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク
13	メイクの種類を学ぶ⑨⑩ケース別メイク	メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるカラーージュのやり方ブライダルシーンに合わせたメイク
14	モデルの顔分析似合わせ	モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネススキルA		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキルA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界だけでなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで、幹部候補生として活躍できる人材を目指す				
到達目標	営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して企業の中での様々な部門の視点を身に付ける ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る 時事ニュースを通じて世の中の動きを理解する				
評価基準	課題提出60% 課題内容（理解度・積極性）40%				
認定条件	出席が総時間の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、ブライダル業界に求められる演出・ビジネススキル等を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスとは何か	ビジネスとは何か（ビジネス用語を学ぶ意味）を考える 各回で取り上げる時事ニュースの発表方法について知る
2	ビジネス用語を学ぶ意味	時事ニュースを知る 会社の中の部署と役割について学ぶ ビジネス用語を学ぶ意味を考える
3	人事総務について① ～働き方改革～	働き方改革・スーパーフレックス・ワークライフバランスについて学ぶ 時事ニュースを知る
4	人事総務について② ～多様な働き方～	ダイバーシティ・副業・兼業・非正規社員・同一労働同一賃金について学ぶ 時事ニュースを知る
5	人事総務について③ ～企業と社員の関係～	従業員体験・ES調査・健康経営・カフェテリアプランについて学ぶ 時事ニュースを知る
6	人事総務について④ ～場所や時間にとらわれない働き方～	テレワーク・サテライトオフィス・グループウェア・コワーキングスペース・フリーアドレスについて学ぶ 時事ニュースを知る
7	人事総務について⑤ ～人材育成～	エルダー制度・インターンシップ・ロールモデル・PDSサイクルについて学ぶ 時事ニュースを知る
8	人事総務系ビジネス用語の振り返り	人事総務系ビジネス用語について振り返りを行う
9	営業について① ～営業活動とは・消費行動のメカニズム～	ブランディング・プロモーション・AISAS・AMTULについて学ぶ 時事ニュースを知る
10	営業について② ～様々な営業のかたち～	BtoB・BtoC・フラッグシップ・コンセプトショップ・インバウンドについて学ぶ 時事ニュースを知る
11	営業について③ ～営業トークスキル～	アイスブレイク・ラポール・ハンガートーク・クローズドクエスチョン・アクティブリスニングについて学ぶ 時事ニュースを知る
12	営業について④ ～営業スタッフとしての姿勢・手法～	ホスピタリティ・インセンティブ・コミッション・フットインザドアについて学ぶ 時事ニュースを知る
13	営業について⑤ ～その他営業で使われる用語～	コスバ・CS・チャネルについて学ぶ 時事ニュースを知る
14	営業について⑥ ～その他営業で使われる用語～	ワンストップサービス・Eコマース・ロングテールについて学ぶ 教科書164～165ページの内容を学ぶ 時事ニュースを知る
15	前期振り返り	前期の学習内容を振り返る

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネススキルB		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキルB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE出版	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	プライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで、幹部候補生として活躍できる人材を目指す				
到達目標	営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して企業の中での様々な部門の視点を身に付ける ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る 時事ニュースを通じて世の中の動きを理解する				
評価基準	課題提出60% 課題内容（理解度・積極性）40%				
認定条件	出席が総時間の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、プライダル業界に求められる演出・ビジネススキル等を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	IT & AIについて① ～AIの技術～	AI・AGI・シンギュラリティ・ディープラーニングについて学ぶ 時事ニュースを知る
2	IT & AIについて② ～現代のIT活用方法～	クラウド・ビッグデータ・データマイニングについて学ぶ 時事ニュースを知る
3	IT & AIについて③ ～IT・WEBを活用したビジネス～	インフルエンサー・ブロガー・ユーチューバー・アフィリエイト・バズマーケティングについて学ぶ 時事ニュースを知る
4	IT & AIについて④ ～新たなIT技術～	VR・5G・仮想現実・デジタルトランスフォーメーションについて学ぶ 時事ニュースを知る
5	IT & AIについて⑤ ～その他IT関連で使われる用語～	セキュリティ・インプレッション・コンバージョンについて学ぶ 時事ニュースを知る
6	IT系ビジネス用語の振り返り	IT系ビジネス用語の振り返りを行う
7	経営について① ～企業が果たすべき責任～	コーポレートガバナンス・コンプライアンス・メディアリテラシー・サステナビリティについて学ぶ 時事ニュースを知る
8	経営について② ～経営活動～	アジェンダ・ブレイクスルー・クレド・SWOT分析について学ぶ 時事ニュースを知る
9	経営について③ ～企業と利害関係がある人・団体～	ステークホルダー・コンペティター・イノベーター・アーリーアダプター・ラガードについて学ぶ 時事ニュースを知る
10	コンサルティングについて① ～分析のための情報と手法～	エビデンス・クリティカル・アジャイルについて学ぶ 時事ニュースを知る
11	コンサルティングについて② ～時代のニーズにあわせた思想の変化、ニーズの引き出し～	パラダイムシフト・コンテンツホルダー・エンパワーメント・インサイトについて学ぶ 時事ニュースを知る
12	コンサルティングについて③ ～問題分析とその考え方～	ソリューション・ファシリテーター・インスパイア・ロジックツリーについて学ぶ 時事ニュースを知る
13	後期振り返り①	後期の学習内容を振り返る
14	後期振り返り②	
15	総合授業	総合学習を行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	リーダーシップ論A		
必修選択	選択	(学則表記)	リーダーシップ論A		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	図解 面白いほど役に立つ 人を動かすリーダーカ		出版社	日本文芸社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論を知る				
到達目標	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける				
評価基準	テスト・課題提出・プレゼンテーション60% 授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、ブライダル業界で求められるリーダーシップスキル等を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	リーダーシップとは何か	リーダーシップについて考える
2	「偉人伝シリーズ ①あきらめないために」 グループディスカッション	偉人のリーダーシップについて学ぶ。(カーネル・カーネルサンダース) グループディスカッション
3	「偉人伝シリーズ ②あきらめないために」 グループディスカッション	偉人のリーダーシップについて学ぶ。(松下 幸之助) グループディスカッション
4	目指すリーダーカ	リーダーになるために必要な5つのポイントを学ぶ
5	リーダーには何が必要か	リーダーシップを発揮するために必要な5つの条件を学ぶ
6	自己紹介作成	リーダーは自分を知ってこそ活かすことができる。自分を知るための自己紹介を作成する
7	理想のリーダー像	有名な人・偉人でリーダーシップのイメージが強い人を調べる(個人ワーク) 個人ワークしたものをグループで発表後、グループワークを行う
8	リーダーとしての共通点	調べて、ディスカッションした内容から色々なリーダーがいることを理解する 人をまとめる力についての種類を理解する
9	理想のリーダー像①	前回、前々回の振り返りから、自分が真似したい、学びたい偉人を個人ワークで探し特徴を学ぶ
10	理想のリーダー像②	前回の続き プレゼン作成
11	理想のリーダー像③	自分がどういう風を目指していくかプレゼンテーションを行う
12	理想のリーダー像④	前回の続き 自分がどういう風を目指していくかプレゼンテーションを行う
13	メンバーのやる気の引き出し方	人に協力してほしいとき、周りの人間に対して日常的にどのように接するべきかを学ぶ メンターについて考える
14	コミュニケーション力向上には	人を育てる・巻き込むには5つのポイントがある 人間関係の構築にはコミュニケーションの向上が必須であることを学ぶ
15	総合授業	前期の振り返り

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	リーダーシップ論B		
必修選択	選択	(学則表記)	リーダーシップ論B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	図解 面白いほど役に立つ 人を動かすリーダー力		出版社	日本文芸社	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論を知る				
到達目標	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける				
評価基準	テスト・課題提出・プレゼンテーション60% 授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、ブライダル業界で求められるリーダーシップスキル等を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	後輩・部下と上手くコミュニケーションをとろう	信頼関係を築くための「ラポール」について学ぶ
2	評価・叱り方	「ファクト評価」について学ぶ
3	褒める技術	自分の日常の行動や他者の行動を思い返し、褒める技術について学ぶ
4	実践①	リーダーシップを生かすために、ディベートを行う
5	実践②	
6	実践③	
7	実践④	リーダーシップを生かすために、グループディスカッションを行う
8	プレゼン力をつけるためには	表現力を高める4つのルールを学ぶ
9	プレゼン力実践	一つの商品に対してプレゼンの実践を行う
10	MYリーダーシップ論の作成①	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成する (ディベート・グループディスカッションを活用する)
11	MYリーダーシップ論の作成②	
12	MYリーダーシップ論の作成③	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成する (配布資料・PPTの作成)
13	MYリーダーシップ論の作成④	
14	MYリーダーシップ論の作成⑤	自ら作成したリーダーシップ論を教員見学の下でプレゼンテーションを行う
15	総合授業	後期の振り返り

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC協会認定ブライダルプランナー検定2級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ブライダルプランナー検定2級を取得する				
評価基準	検定結果60% 小テスト30% 授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルプランナー検定2級				
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	中野 梨沙	実務経験		○	
実務内容	結婚式司会者として結婚式場にて18年間勤務した実務経験を基に、欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	American Weddings 第1章 アメリカンウェディングとは	アメリカンウェディング全体を理解する 第1章の過去問題を解く
2	American Weddings 第6章 アメリカンウェディングとは	アメリカンウェディング全体を理解する 第6章の過去問題を解く
3	American Weddings 第2章 アメリカンウェディング	ブライダルショー・ブライダルパーティ・婚約ギフト・ペーパーアイテム・フォト・ビデオ・服装について理解する 第2章の過去問題を解く
4	American Weddings 第3章・4章 アメリカンウェディング	それぞれのギフトや演出・挙式、レセプション会場等について・リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する 第3章の過去問題を解く
5	American Weddings 第4章 アメリカンウェディング	リハーサルウェディングや伝統的な言い伝え、各宗派の挙式を理解する 第4章の過去問題を解く
6	American Weddings 第5章 アメリカンウェディング	レセプションについて学び、アメリカンウェディングの総まとめを行う 第5章の過去問題を解く
7	Japanese Weddings 第1章 日本のブライダル市場	特に1990年代の動向について知る 第1章の過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第2章 ウェディングの決定	結納・結婚式について知る 第2章の過去問題を解く
9	Japanese Weddings 第3章 婚礼施設の主要業務	第3章の過去問題を解く
10	Japanese Weddings 第4～5章 関連商品・サービス・衣装・主要各業務	第4章、第5章の過去問題を解く
11	検定対策（総まとめ）①	過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
12	検定対策（総まとめ）②	過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
13	検定問題解答・解説	検定試験の解答を行い、自己採点を行う
14	記述対策	過去問題や対策プリントなどを作成し、対策を行う
15	総合学習	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる グループワークを通して協調性・コミュニケーション能力を高めることができる				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる 料飲サービスに必要な基本的知識が身についている				
評価基準	テスト実技20% 筆記40% プレゼンテーション20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ(模擬披露宴) ブライダルプロジェクトⅡ(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして専門式場にて6年間半勤務した実務経験を基に、サービススタッフとしての知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
]	飲料サービス	水、コーヒー、紅茶のサービスを学ぶ
2	ワイン・シャンパン・食前酒①	ワインリストの読み方、ワインの種類や特徴(産地・製造方法)を知る
3	ワイン・シャンパン・食前酒②	抜栓方法や提供方法、食前酒について
4	ワイン・シャンパン・食前酒③	ワインリストの読み方、ワインの種類や特徴(産地・製造方法)を知る
5	知識を広げよう①	食品の知識を学ぶ
6	知識を広げよう②	
7	レストランウェディングを知る・考える	現在のレストランウェディングの流行や有名なレストラン等を知る どういったパーティーができるのか? 価格は? 装飾は? どんなサービスをするべきか
8	レストランウェディングをプレゼンする 小まとめ	
9	デザート・フルーツ・チーズのサービス	フルーツカットについて動画を見て学ぶ チーズの知識、製造方法を理解し、種類について理解する
10	カクテル①考案	グループでカクテルを考案する テーマを考案しプレゼンを実施
11	カクテル②(試作・プレゼン) 小まとめ	グループで試作をし、プレゼンテーションを行う
12	半期のまとめ	半期のまとめを行う
13	サービス実践①	各結婚式のサービスの違いを知る
14	サービス実践②	サービスの実践 ウェディングプロデュースに向けたサービス実践
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ホテル概論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテル概論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	基礎から学ぶ ホテルの概論		出版社	ウィネット	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学ぶ				
到達目標	ホテルの特徴や、ホテルウェディングの強みを自信をもって語ることができる				
評価基準	課題提出60% テスト40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ホテル概論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	倉田 里沙	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして、ホテルにて6年間勤務した実務経験を基に、ホテル業界にて求められる知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	「ホテル」とは何か ホテルスタッフに求められる能力	ホテルスタッフに求められる能力を理解する
2	ホテルの分類・ホテルの発達の歴史①	ホテルの種類と特徴を知る
3	ホテルの分類・ホテルの発達の歴史②	世界・日本のホテルの歴史について学ぶ
4	ホテル産業の特徴・ホテル内での様々な職種①	ホテルの組織・職種/他の授業とのつながりを知る
5	ホテル産業の特徴・ホテル内での様々な職種②	プランナーはどこに属して、他部門との関連性を知る
6	ホテル調査	シティホテル・リゾートホテル・外資系ホテル・アーバンリゾートホテル・ビジネスホテルなどを調べる いくつかのグループに分かれて調べ、身近にどんなホテルがあるのか発表
7	宴会部門について① 宴会予約の仕事や基礎知識	宴会予約（ブライダルアドバイザー）、宴会サービス、クローク、ブライダルアドバイザーについて学ぶ
8	宴会部門について② 一般宴会	一般宴会について学ぶ 仕事内容や一般宴会の利用内容などを理解する
9	宴会部門について③ 基礎知識	テーブルプランについて学び、実際に会場のレイアウト表を作成する
10	婚礼サービスと弔事知識	六輝、数字の吉凶、長寿のお祝い、法要について学ぶ
11	料飲部門について① レストラン	ホテル内の料飲施設の種類（フランス料理、中国料理、日本料理など）について学ぶ
12	料飲部門について② 朝食	ホテル内の料飲施設の種類（ホテルの朝食）について学ぶ
13	料飲部門について③ ビバレッジ・レセプションサービス	ビバレッジについての知識を学ぶ レセプションサービスの仕事内容を把握し、接客マナーについて学ぶ
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総まとめ	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定 レストランサービス技能士3級 学科試験合格				
評価基準	授業態度20% 各章のまとめ20%×4回				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士3級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ・ⅡA・ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	唐橋 誠治	実務経験	○		
実務内容	サービススタッフとしてホテルにて8年間、マネージャーとしてレストランにて4年間勤務した実務経験を基に、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	食材・飲料等の基礎知識①	食品の分類別特徴、食品の管理、西洋料理に使用される主な食材について学ぶ
2	食材・飲料等の基礎知識②	西洋料理に使用される主な食材について学ぶ
3	食材・飲料等の基礎知識③	一般的な西洋料理調理法等について学ぶ
4	まとめ	演習問題を実施する
5	料飲概論	アルコール飲料について学ぶ
6	食材・飲料等の基礎知識④	ワインの知識、その他の飲料について学ぶ
7	食材・飲料等の基礎知識⑤	メニュー構成について学ぶ
8	まとめ	演習問題を実施する
9	食材・飲料等の基礎知識⑥	食器類について学ぶ 料飲サービススタッフの役割と求められる資質について学ぶ
10	宴会とレストランサービス①	料理と飲み物のサービスについて学ぶ
11	まとめ	演習問題を実施する
12	宴会とレストランサービス②	レストランにおける接客について学ぶ
13	宴会とレストランサービス③	ワゴンサービスについて学ぶ
14	宴会とレストランサービス④	一般的な教護方法ならびに食事のサービスマナーについて学ぶ
15	総まとめ	総まとめの演習問題を実施する

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダード マニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	国家検定実技試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な動作を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士3級 実技試験合格を目標として、ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	実技テスト60%・評価シート20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士3級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ・Ⅱ / レストランサービス演習ⅡA・ⅡB サービス実践A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	唐橋 誠治	実務経験		○	
実務内容	サービススタッフとしてホテルにて8年間、マネージャーとしてレストランにて4年間勤務した実務経験を基に、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	基本動作	立ち居振る舞いの実践をする
2	接客用語 サービストレイの扱い	接客用語について学ぶ トレイの扱いを復習及び実践する
3	サーバー・ドリンクサービス・ プレートサービス	サーバー・ドリンクサービス・プレートサービスについて学び実践する
4	形式に合わせたセッティング①	朝食・昼食のセッティング及び、接客言葉を修得する
5	形式に合わせたセッティング②	
6	検定実技シミュレーション 朝食①	朝食サービスのシミュレーションを行う
7	検定実技シミュレーション 朝食②	
8	検定実技シミュレーション 朝食③	
9	検定実技シミュレーション 昼食①	昼食サービスのシミュレーションを行う
10	検定実技シミュレーション 昼食②	
11	検定実技シミュレーション 昼食③	
12	実技のまとめ①	実技のまとめを行う
13	実技のまとめ②	
14	検定実技シミュレーション	朝食・昼食サービスのシミュレーションを行う
15	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影基礎演習		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影基礎演習		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO		出版社	一般社団法人 日本ウェディングスタイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングフォト（婚礼写真）の知識、撮影基礎技術を学び、ウェディングフォトの提案および撮影テクニックを身につける				
到達目標	ウェディングフォトの商品説明ができる ウェディングフォト商品別に手順を理解した上で、手配業務ができる スマートフォンを使用した撮影、編集ができる 一眼レフカメラ又はミラーレスカメラを使用し、ウェディングフォトのロケーション撮影ができる				
評価基準	試験80% 課題提出20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	JWSA認定ウェディングフォトスタイリスト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	前田 英里奈	実務経験		○	
実務内容	ウェディングフォトグラファーとしてフォトスタジオにて4年勤務した経験を基に、カメラの構造や操作技能を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	通過儀礼における写真	ウェディングフォト（婚礼写真）について・日本の通過儀礼における写真撮影について学ぶ
2	ウェディングフォトの接客・業務	ウェディングフォト業務の接客について・ウェディングフォトの業務の流れと必要なスキルについて学ぶ
3	カメラの基礎知識 スマートフォン撮影①	写真を撮るための基礎用語と知識について学ぶ スマートフォンのカメラ機能を理解し、撮影実践を行う
4	スマートフォン撮影② SNSとは	スマートフォンのカメラ機能を使用して、課題撮影およびアプリを使用した編集を実践する ソーシャルネットワークサービスの効果と注意点について学ぶ
5	ウェディングフォトの種類と知識	集合写真・記念写真・スナップ写真の利点、手順、費用について学ぶ 前撮り・ロケーションフォト・エンゲージメントフォト・フォトウェディングの利点、手順、費用について学ぶ
6	スタジオ写真	スタジオ写真の技術について学ぶ 親族写真の並べ方・新婦和装の振付けについて学ぶ
7	スナップ写真①	挙式の式次第と撮影ポイント、スナップ写真の撮影シーンについて学ぶ
8	スナップ写真撮影実践	人前式の挙式を設定し、撮影準備・実践を行う フォトコンテストに向けた撮影の実践を行う
9	ロケーションフォト	ロケーションフォトの手順、撮影シーンについて学ぶ 海外フォトウェディング・ロケーションフォトの撮影テクニックについて学ぶ
10	ロケーション撮影実践	テーマを設定し、モデル、ロケーションの検討、撮影準備をする ロケーション撮影を実践する
11	プレゼンテーション ウェディングフォトの編集	撮影したロケーションフォトのプレゼンテーションを行う ウェディングフォトの編集、加工テクニックについて学ぶ
12	ウェディングフォトの製本 ウェディングフォト撮影実践①	ウェディングフォトの製本方法、手配業務について学ぶ フォトスタジオなどの実際の現場見学を通して、撮影実践に向けた準備や企画を考える
13	ウェディングフォト撮影実践②	ウェディングフォトのロケーション撮影・会場撮影を企画する ロケーション撮影及び会場撮影の準備・実践をする
14	ウェディングフォト撮影実践③ プレゼンテーション	ロケーション撮影及び会場撮影の実践・編集・プレゼンテーション準備をする 撮影したウェディングフォトのプレゼンテーションを行う
15	総合授業	これまでの学習内容を確認する 振り返りとまとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	60
使用教材	なし		出版社	-	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	高橋 絵美	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験を基に、ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を教授する				